

(1)一般高齢者調査

①調査対象

新宿区に居住する要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者 3,500人

②25年度調査の新設・増設項目

認知症、健康状態、在宅療養（看取り）

備考の記号（22年度）：●…経年項目 ☆…22年新設項目 ■…第5期計画の指標に使用されている項目

加除修正記号（25年度）：○…継続 ×…削除

③調査項目

22年度調査				25年度調査時の加除修正項目（案）		
見出し	ねらい	設問番号	設問項目	備考	加除修正	理由・備考等
ご本人のこと	回答者の基本属性を把握する。	1～3	○性別 ○年齢 ○居住地域	●		
	高齢者の社会的な孤立の状況を把握する。	4～4-4	○世帯構成および世帯人数 (付問：同居者の年齢、家族との連絡頻度、手助けを頼める人の有無、手助けを頼める人は誰か)	● ☆		
	就労の状況や意欲を把握する。	5～5-1	○職業（付問：仕事についていない理由）	●		
	収入源および世帯の年間収入を把握する。	6、8	○本人の収入源 ○世帯の年収	●		
	暮らしの状況を把握する。	7	○暮らし向き	☆	○	
住まいのこと	住まいの状況を把握するとともに、住まいでの不便などから課題を探る。	9～13	○居住年数	●		
			○住居形態	☆	○	
			○居住階数（付問：エレベータの有無）	☆	○	
			○住み替え意向（付問：住み替え先）	☆	○	
			○住まいで不便や不安を感じる事	☆	○	
健康状態	健康状態を把握する。	14～15-3	○健康に関する認識（主観的健康観）	●		
			○治療中の病気の有無 (付問：治療中の病気の種類、受診している医療機関、大学病院等を受診している理由)	●		「どのくらいの頻度で受診しているか」、「その医療機関を選択した理由」を追加する。
	かかりつけ医やかかりつけ歯科医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	16～20	○かかりつけ医の有無	●		「かかりつけ医の人数」、「どの医療機関の医師か」を追加する。
			○かかりつけ医の必要性	☆	○	
			○1年以内の歯科受診 (付問：受診している歯科医療機関)	●		
			○歯や口、入れ歯の状態	●		
	在宅療養の意向や実現の可能性、不安なこと等を詳細に把握する。	21～24	○かかりつけ歯科医の有無	●		
			○在宅療養の希望	☆	○	
○在宅療養を難しくする要因			☆	○		
○緩和ケアの認知度			☆	○	健康づくり行動計画の指標になっている。	
			○療養が必要になった場合の療養場所	●		

22年度調査				備考	25年度調査時の加除修正項目（案）	
見出し	ねらい	設問番号	設問項目		加除修正	理由・備考等
日ごろの生活	高齢者の心身機能を点数化して評価し、高齢者の活動能力を把握する。	25、26	○活動能力指標（老研式13項目）	☆	○	
			○こころの健康状況	●	/	
			○健康意識、行動	☆	○	
	外出回数や外出に際して不便に感じることを把握する。	27～30	○外出回数	●	/	
			○外出回数の増減（対昨年）	☆	×	外出の際の不便事項に特化した質問とする。
			○外出理由	☆	×	
			○外出の際不便に感じること	☆	○	
	日常生活における困りごとや地域とのつながりに関する意識を把握する。	31～33	○日常生活での困りごと	☆	○	
			○近所づきあいの程度	●	/	
○地域とのつながりの必要性			☆	○		
いきがいづくりや社会参加	興味のある地域活動やボランティア活動など参加の有無等を把握する。	34～35-5	○いきがいを感ずること	●	/	
			○地域活動等の状況 （付問：現在していない理由、したことがない理由）	☆■	/	
			○興味のある地域活動等	☆	○	
			○地域活動等への取り組み意向	☆	○	
			○参加しやすい地域活動等の形態	☆	○	
介護予防	介護予防への関心や区が実施している介護予防教室への参加意向を把握する。	36、37	○介護予防に関する関心	●■	/	
			○参加したい介護予防教室	●	/	
介護が必要になったときのこと	高齢者総合相談センターの認知度や機能などを知っているか把握する。	38-1～38-3	○高齢者総合相談センターの名称の認知度	☆■	/	
			○高齢者総合相談センターの機能の認知度	☆■	/	
	在宅で暮らし続けることの希望および在宅で暮らし続けるために必要なことを把握する。	39～40	○介護が必要になった場合、今の住まいで暮らし続けたいか （付問：施設等に入居したい理由）	●	/	
			○在宅で暮らし続けるために必要なこと	☆	○	
介護保険制度	保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	41	○保険サービスと保険料についての考え	●	/	
認知症	認知症に関する理解の促進や、認知症サポーターの普及・啓発を図る。	42～46	○記憶力等の変化 （付問：記憶力等の低下についての相談有無、相談先、相談しない理由）	☆	○	前回調査で新設したが、変化がありながらも対応が不十分な結果がわかり、継続調査したい。
			○若年性認知症の認知度	☆	×	一般高齢者調査のため削除
			○認知症サポーターの認知度	☆	×	区の他調査で実施のため削除
			○認知症サポーター養成講座の受講意向	☆	×	区の他調査で実施のため削除
			○認知症の早期発見、対応に必要なこと	●	/	

22年度調査				備考	25年度調査時の加除修正項目（案）	
見出し	ねらい	設問番号	設問項目		加除修正	理由・備考等
権利擁護	成年後見制度の認知度や区の成年後見センターの認知度と利用意向を把握する。	47～49	○成年後見制度の認知度	☆	○	
			○新宿区成年後見センターの認知度	☆■		
			○新宿区成年後見センターの利用意向	☆	○	
緊急時の避難など	安心して生活を送るために、防災は重要な視点であることから、区の制度の周知を図るとともに、災害発生時の意識等を把握する。	50～52	○災害時にひとりで避難できるか (付問：避難できない理由)	☆	○	
			○災害時要援護者登録名簿の認知度	☆■		
			○災害時の対応として事前の情報登録への意向	☆	○	
情報入手	健康や福祉サービスに関する情報入手手段を把握する。	53	○健康や福祉サービスに関する情報の入手手段	●		

○新設・増設項目欄

見出し	ねらい	設問項目（案）	理由・備考
認知症	本人の立場でのニーズを把握し、本人へのサービスを検討する。	認知症になったと仮定した生活について	生活場所、心配や不安なことを把握し、支援の参考とするため。
認知症	普及啓発と現在区が実施している、普及啓発の効果の把握	認知症に原因疾患があることへの理解度	区民意識調査や、区政モニターで実施している項目だが、高齢者の母数が多い本調査でも実施したい。
認知症	普及啓発と現在区が実施している、普及啓発の効果の把握	認知症は早期診断・早期治療が大切であることへの理解度	区民意識調査や、区政モニターで実施している項目だが、高齢者の母数が多い本調査でも実施したい。
認知症	普及啓発と現在区が実施している、普及啓発の効果の把握	認知症は家族等の理解と対応で症状が和らぐことへの理解度	区民意識調査や、区政モニターで実施している項目だが、高齢者の母数が多い本調査でも実施したい。
健康状態	退院後、困ったことがあった場合の相談先について把握する。	過去1年間に入院有の場合、「入院期間」・「退院時の病状、医療機関」・「相談先」について	退院後の支援の参考とするため。
在宅療養（看取り）	終末期の意向（ケアに関する）の表明のあり方について把握する。	終末期の意向（ケアに関すること）	在宅療養（看取り）に必要な支援の参考とするため。

(2) 居宅サービス利用者調査

① 調査対象

新宿区に居住する要支援・要介護認定を受けている居宅サービス利用者 1,500人

② 25年度調査の新設・増設項目

認知症、医療機関の受診等、在宅療養（看取り）

備考の記号（22年度）：●…経年項目 ☆…22年新設項目 ■…第5期計画の指標に使用されている項目

③ 調査項目

加除修正記号（25年度）：○…継続 ×…削除

22年度調査				25年度調査時の加除修正項目（案）		
見出し	ねらい	設問番号	設問項目	備考	加除修正	理由・備考等
ご本人のこと	回答者の基本属性を把握する。	1～3	○性別 ○年齢 ○居住地域	●	/	
	居宅サービス利用者の社会的な孤立の状況を把握する。	4～4-4	○世帯構成および世帯人数 (付問：同居者の年齢、家族との連絡頻度、手助けを頼める人の有無、手助けを頼める人は誰か)	●	/	
	収入源および世帯の年間収入を把握する。	5、7	○本人の収入源 ○世帯の年収	●	/	
	暮らしの状況を把握する。	6	○暮らし向き	☆	○	
住まいのこと	住まいの状況を把握するとともに、住まいでの不便などから課題を探る。	8～11	○居住年数	☆	○	
			○住居形態	●	/	
			○居住階数（付問：エレベータの有無）	☆	○	
			○住まいで不便や不安を感じる事	☆	○	
日ごろの生活	地域とのつながりに関する意識を把握する。	12、13	○近所づきあいの程度	☆	○	
			○地域とのつながりの必要性	☆	○	
いきがいづくりや社会参加	いきがいを感していることを把握する。	14	○いきがいを感すること	☆	○	
要介護認定	介護認定申請の動機について把握する。	15～17	○要介護度	●	/	
			○介護を要する要因	●	/	
			○要介護認定申請の動機	☆	○	
医療機関の受診等	健康状態を把握する。	18～18-4	○治療中の病気の有無 (付問：治療中の病気の種類、受診している医療機関、大学病院等を受診している理由、在宅医療に関する困りごと)	●	/	「どのくらいの頻度で受診しているか」、を追加し、「問18-3」は「その医療機関を選択した理由」に差し替える。
			○かかりつけ医の有無	●	/	
	かかりつけ医やかかりつけ歯科医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	19～23	○かかりつけ医の必要性	☆	○	
			○1年以内の歯科受診 (付問：受診している歯科医療機関)	●	/	
			○歯や口、入れ歯の状態	●	/	
			○かかりつけ歯科医の有無	●	/	
こころの健康状況を把握する。	24	○こころの健康状況	●	/		

22年度調査				25年度調査時の加除修正項目（案）	
見出し	ねらい	設問番号	設問項目	備考	加除修正 理由・備考等
認知症	認知症に関する理解の促進を図る。	25～26	○記憶力の変化 (付問：記憶力等の低下についての相談有無、相談先、相談していない理由)	●	前回調査で新設したが、変化がありながらも対応が不十分な結果がわかり、継続調査したい。
			○認知症の早期発見・早期対応に必要なこと	☆	
権利擁護	成年後見制度の認知度や区の成年後見センターの認知度と利用意向を把握する。	27～29	○成年後見制度の認知度	☆	○
			○新宿区成年後見センターの認知度	☆	○
			○新宿区成年後見センターの利用意向	☆	○
介護サービスの利用状況と利用意向など	介護保険サービス利用の状況と意向を把握する。	30～30-3	○介護保険サービスの利用有無	☆	○
			○サービス利用後の状況の変化	●	○
			○サービスを利用していない理由	☆	
	在宅で暮らし続けることの希望および在宅で暮らし続けるために必要なことを把握する。	31～32	○これから今の住まいで暮らしたいか (付問：施設等に入居したい理由)	☆■	○
			○在宅で暮らし続けるために必要なこと	☆	
			高齢者総合相談センターの認知度や機能などを知っているか把握する。	33-1～33-3	
○高齢者総合相談センターの機能の認知度	☆	○			
○高齢者総合相談センターの場所の認知度	☆	○			
介護保険制度	保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	34	○保険サービスと保険料についての考え	●	○
緊急時の避難など	安心して生活を送るために、防災は重要な視点であることから、区の制度の周知を図るとともに、災害発生時の意識等を把握する。	35～37	○災害時にひとりで避難できるか (付問：避難できない理由)	☆	○
			○災害時要援護者登録名簿の認知度	☆	○
			○災害時の対応として事前の情報登録への意向	☆	○
情報入手	健康や福祉サービスに関する情報入手手段を把握する。	38	○健康や福祉サービスに関する情報の入手手段	●	○
介護者	介護者の基本属性を把握する。	39～42	○介護者の性別	●	○
			○介護者と調査対象者との関係	●	
			○介護者の年齢	●	
			○介護期間	●	
	介護を通じて感じた事項を把握する。	43～45	○介護をしていて感じたこと	●	○
			○サービスを利用して良かったこと (付問：相談相手)	●	
○介護者への支援として新宿区に力を入れてほしいこと			●		

22年度調査				備考	25年度調査時の加除修正項目（案）	
見出し	ねらい	設問番号	設問項目		加除修正	理由・備考等
介護者	介護者のこころの健康状況を把握する。	46	○こころの健康状況	●	/	介護者支援の取り組みに関して参考となる。
	認知症に関する理解促進を図る。	47、 47-1	○調査対象者の認知症の有無 （付問：認知症介護での相談相手）	●		

○新設・増設項目欄

見出し	ねらい	設問項目（案）	理由・備考
認知症	本人の立場でのニーズを把握し、本人へのサービスを検討する。	認知症になったと仮定した生活について	生活場所、心配や不安なことを把握し、支援の参考とするため。
認知症	普及啓発と現在区が実施している、普及啓発の効果の把握	認知症に原因疾患があることへの理解度	区民意識調査や、区政モニターで実施している項目だが、高齢者の母数が多い本調査でも実施したい。
認知症	普及啓発と現在区が実施している、普及啓発の効果の把握	認知症は早期診断・早期治療が大切であることへの理解度	区民意識調査や、区政モニターで実施している項目だが、高齢者の母数が多い本調査でも実施したい。
認知症	普及啓発と現在区が実施している、普及啓発の効果の把握	認知症は家族等の理解と対応で症状が和らぐことへの理解度	区民意識調査や、区政モニターで実施している項目だが、高齢者の母数が多い本調査でも実施したい。
医療機関の受診等	退院後、困ったことがあった場合の相談先について把握する。	過去1年間に入院有の場合、「入院期間」・「退院時の病状、医療機関」・「相談先」について	退院後の支援の参考とするため。
在宅療養（看取り）	終末期の意向（ケアに関する）の表明のあり方について把握する。	終末期の意向（ケアに関すること）	在宅療養（看取り）に必要な支援の参考とするため。

平成25年度「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」調査項目（案）

(3)第2号被保険者
(40～64歳の方)調査

(3)第2号被保険者（40～64歳の方）調査

①調査対象

新宿区に居住する第2号被保険者（40歳以上65歳未満） 1,500人

②25年度調査の新設・増設項目

若年性認知症、在宅療養（看取り）

備考の記号（22年度）：●…経年項目 ☆…22年新設項目 ■…第5期計画の指標に使用されている項目

加除修正記号（25年度）：○…継続 ×…削除

③調査項目

22年度調査				25年度調査時の加除修正項目（案）		
見出し	ねらい	設問番号	設問項目	備考	加除修正	理由・備考等
ご本人のこと	回答者の基本属性を把握する。	1～4	○性別 ○年齢 ○居住地域	●		
			○世帯構成および世帯人数	●		
	就労の状況や意欲を把握する。	5～6	○職業（付問：勤務地）	●		
			○職業継続意向	☆	○	
暮らしの状況を把握する。	7、8	○暮らし向き	☆	○		
		○世帯の年収	●			
介護の経験を把握する。	9、9-1	○高齢者の介護経験の有無 （付問：介護をしていて感じたこと）	●			
		○介護をしていて感じたこと	☆	○		
住まいのこと	現在の住まいの状況を把握する。	10、11	○居住年数	☆	○	
			○居住形態	●		
健康状態	健康状態を把握する。	12～ 14-3	○健康に関する認識（主観的健康観）	●		
			○健康な生活を送るため心がけていること	☆	○	
			○治療中の病気の有無 （付問：治療中の病気の種類、受診している医療機関、大学病院等を受診している理由）	●		
			○かかりつけ医の有無	●		
	かかりつけ医やかかりつけ歯科医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	15～19	○かかりつけ医の必要性	☆	○	
			○1年以内の歯科受診 （付問：受診している歯科医療機関）	●		
			○歯や口、入れ歯の状態	●		
			○かかりつけ歯科医の有無	●		
	在宅療養の意向や実現の可能性、不安なこと等を詳細に把握する。	20～23	○在宅療養の希望	☆	○	
			○在宅療養を難しくする要因	☆	○	
○緩和ケアの認知度			☆	○		
○療養が必要になった場合の療養場所			●			

平成25年度「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」調査項目（案）

(3)第2号被保険者
(40～64歳の方)調査

22年度調査				25年度調査時の加除修正項目（案）		
見出し	ねらい	設問番号	設問項目	備考	加除修正	理由・備考等
いきがいづくりや社会参加	いきがい、興味のある地域活動やボランティア活動など参加の有無等、特技や資格を把握する。	24～26	○いきがいを感ずること	☆	○	
			○地域活動の状況 (付問：現在していない理由、したことがない理由)	☆	○	
			○興味のある地域活動等	☆	○	
			○地域活動等への取り組み意向	☆	○	
			○参加しやすい地域活動等の形態	☆	○	
			○地域活動等に活かしたい特技、資格等	☆	○	
認知症	認知症に関する理解の促進や、認知症サポーターの普及・啓発を図る。	27～31	○記憶力等の変化 (付問：記憶力等の低下についての相談有無、相談先、相談していない理由)	☆	×	調査対象が、第2号被保険者(40～64歳の方)のため、若年性認知症に特化した設問に差し替える方向で検討する。
			○若年性認知症の認知度	☆	×	
			○認知症サポーターの認知度	☆	×	
			○認知症サポーター養成講座の受講意向	●	×	
			○認知症の早期発見、対応に必要なこと	☆	×	
権利擁護	成年後見制度の認知度や区の成年後見センターの認知度と利用意向を把握する。	32～34	○成年後見制度の認知度	☆	○	
			○新宿区成年後見センターの認知度	☆	○	
			○新宿区成年後見センターの利用意向	☆	○	
介護が必要になったときのこと	在宅で暮らし続けることの希望および在宅で暮らし続けるために必要なことを把握する。	35～36	○介護が必要になった場合、今の住まいで暮らしたいか (付問：施設等に入居したい理由)	☆	○	
			○在宅で暮らし続けるために必要なこと	☆	○	
介護保険制度	保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	37	○保険サービスと保険料についての考え	●	△	
情報や相談	新宿区のホームページの閲覧状況を把握する。	38	○新宿区のホームページ閲覧の有無	●	△	
	高齢者総合相談センターの認知度や機能などを知っているか把握する。	39-1～39-3	○高齢者総合相談センターの名称の認知度	☆	○	
			○高齢者総合相談センターの機能の認知度	☆	○	
			○高齢者総合相談センターの場所の認知度	☆	○	
	福祉サービスや健康に関する情報入手手段を把握する。	40～43	○福祉や健康に関する情報入手手段	●	△	
			○福祉に関する相談先	●	△	
			○健康管理や病気に関する相談先	●	△	
○介護が必要になった場合に望む相談体制			●	△		

○新設・増設項目欄

見出し	ねらい	設問項目（案）	理由・備考
若年性認知症	若年性認知症の認知度等の把握		若年性認知症の課題も注目されているため。
在宅療養（看取り）	終末期の意向（ケアに関する）の表明のあり方について把握する。	終末期の意向（ケアに関する）こと	在宅療養（看取り）に必要な支援の参考とするため。

(4)ケアマネジャー調査

①調査対象

新宿区内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー 約220人

②25年度調査の新設・増設項目

認知症対策、在宅療養（看取り）、医療と介護の連携

備考の記号（22年度）：●…経年項目 ☆…22年新設項目 ■…第5期計画の指標に使用されている項目

③調査項目

加除修正記号（25年度）：○…継続 ×…削除

22年度調査				25年度調査時の加除修正項目（案）		
見出し	ねらい	設問番号	設問項目	備考	加除修正	理由・備考等
勤務先の事業所の概要	勤務先の事業所の実施している介護保険サービス内容等を把握する。	1～3	○事業所の組織	●	/	
			○居宅介護支援事業以外の運営の有無	●	/	
			○運営している介護保険サービス	●	/	
			○ケアマネジャーの人数	●	/	
ご本人のこと	ケアマネジャーの基本属性を把握する。	4～8	○性別 ○年齢 ○勤務形態	●	/	
			○ケアマネジャーの経験年数	●	/	
			○介護支援専門員以外に取得している資格	●	/	
ケアマネジメントの状況	ケアマネジメント業務を行うなかでの課題等を把握する。	9～16	○担当している利用者数	●	/	
			○アセスメントの実施状況 (付問：十分に実施できなかった理由)	●	/	
			○高齢者総合相談センターとの連携状況 (付問：連携がとれない理由)	☆	○	
			○医療との連携状況 (付問：連携がとれない理由)	☆	○	
			○ケアマネジメントで負担になっている業務	●	/	
			○特養への入所申込みをしたケース	☆	○	
			○ケアプランに組み込みにくい介護保険サービス	☆	○	
○要介護者が在宅で暮らし続けるために必要なこと	☆	○				
ケアマネジャーの仕事	ケアマネジャーの仕事についての考えを把握する。	17	○やりがい	☆	○	
			○専門知識・技能の必要性	☆	○	
			○業務量	☆	○	
			○精神的ストレスの大きさ	☆	○	
			○社会的評価	☆	○	
			○報酬と業務の釣り合い	☆	○	
			○介護福祉士や社会福祉士の資格	☆	○	
○独立性・中立性・公平性の確保	☆	○				

22年度調査				備考	25年度調査時の加除修正項目（案）	
見出し	ねらい	設問番号	設問項目		加除修正	理由・備考等
スキルアップ（研修）	スキルアップのための研修への参加状況を把握する。	18～ 18-3	○研修への参加有無 （付問：スキルアップにつながった研修、研修の主催者、研修に参加しない理由）	●	/	
今後の意向	ケアマネジャーの仕事に関する今後の継続意向等を把握する。	19～ 19-4	○ケアマネジャーの継続意向 （付問：主任ケアマネジャーの資格取得希望、独立化の意向、ケアマネジャーを継続したくない理由）	●	/	
新宿区への要望	保険者である新宿区への要望を把握する。	20	○新宿区への要望	●	/	
	新宿区の高齢者支援策についての考えを把握する。	21	○新宿区の高齢者支援策に対する評価	☆	○	

○新設・増設項目欄

見出し	ねらい	設問項目（案）	理由・備考
認知症	認知症に関する医療との連携に関する現状を把握する。	認知症に関する医療との連携度について	認知症支援策の充実を図るため。
ケアマネジメン トの状況	宿泊付デイサービス利用状況を把握する。	利用を位置づけたことがあるか。	今後の指導内容の参考とするため。
ケアマネジメン トの状況	サービス事業所との連携実態を把握する。	どのような連携を、どれくらいの頻度で行っているか。	事業所とケアマネジャーの連携不足が懸念されるため。
ケアマネジメン トの状況	国が検討している「地域ケア会議」の制度化について、周知度を把握する。	地域ケア会議について	地域ケア会議の制度化に向けた対応を検討するため。
在宅療養 （看取り）	安心して看取りをサポートするために必要なものを把握する。	自宅で看取りをサポートするために欠かせないと思うもの。	在宅療養（看取り）に必要な支援の参考とするため。
医療と介護の連 携	医療と介護の連携に必要なものを把握する。	医療と介護の連携のために必要なもの。	医療と介護の連携の推進を図るために必要な支援の参考とするため。

(5)介護保険サービス事業所調査

①調査対象

新宿区内の介護保険サービス事業所 約200所

②25年度調査の新設・増設項目

認知症対策、在宅療養（看取り）、医療と介護の連携

備考の記号（22年度）：●…経年項目 ☆…22年新設項目 ■…第5期計画の指標に使用されている項目

③調査項目

加除修正記号（25年度）：○…継続 ×…削除

22年度調査				25年度調査時の加除修正項目（案）		
見出し	ねらい	設問番号	設問項目	備考	加除修正	理由・備考等
事業所の概要	指定を受けている介護保険サービスの経営状況や今後の事業展開の意向等を把握する。	1、20、21	○指定を受けている介護保険サービス（付問：現在の事業体制での利用申込者への対応状況、経営状況、今後4年間の事業展開の意向）	●	/	
			○法人格	●		
			○法人の事業エリア	●		
今後の参入意向		2～4	○小規模多機能型居宅介護への参入意向（付問：参入の際の課題）	●	○	6期の整備目標を設定するにあたり、事業者の意向を把握する必要があるため、「複合型サービスへの参入意向」「単独ショートステイへの参入意向」へ設問を変更する。
			○宿泊付デイサービスへの参入意向	☆	×	
			○24時間地域巡回型訪問サービスへの参入意向	☆	×	
新規人材の確保について	人材の新規確保のための取り組みを把握する。	5	○新規人材確保のための取り組み	●	○	人材の確保状況、定着率の質問を行ったうえで、左記内容を質問する。
人材の定着、育成について	人材の育成等のための取り組みを把握する。	6	○人材の定着・育成のための取り組み	☆	○	
収支状況・処遇改善	収支状況および処遇改善に向けた取り組み等を把握する。	7～13	○本年度の収支見込み	☆	○	介護職員処遇改善加算に移行したため
			○昨年度と比較した収支状況	☆	○	
			○介護従事者の処遇改善に向けた取り組みの実施有無（付問：実施後の効果）	☆	○	
			○平成21年度介護職員処遇改善交付金の申請有無（付問：申請しない理由）	☆	×	
			○平成22年度介護職員処遇改善交付金の申請有無（付問：申請しない理由）	☆	×	
			○収支向上に関する考え	☆	○	
高齢者総合相談センターとの連携	高齢者総合相談センターとの連携状況を把握する。	14	○収支向上等に向けた取り組み	☆	○	
			○高齢者総合相談センターとの連携状況（付問：連携がとれていない理由）	☆	○	

22年度調査				備考	25年度調査時の加除修正項目（案）	
見出し	ねらい	設問番号	設問項目		加除修正	理由・備考等
要介護者等が、在宅で暮らし続けるために必要なこと	介護保険サービス事業所の立場から、要介護者が在宅で暮らし続けるために必要なことを把握する。	15	○要介護者が在宅で暮らし続けるために必要なこと	☆	○	
新宿区への要望	保険者である新宿区への要望を把握する。	16	○新宿区への要望	●	/	
	新宿区の高齢者支援策についての考えを把握する。	17	○新宿区の高齢者支援策に対する評価	☆	○	

○新設・増設項目欄

見出し	ねらい	設問項目（案）	理由・備考
認知症	認知症に関する医療との連携に関する現状を把握する。	認知症に関する医療との連携度について	認知症支援策の充実を図るため。
在宅療養（看取り）	安心して看取りをサポートするために必要なものを把握する。	看取りをサポートするために欠かせないと思うもの。	看取りに必要な支援の参考とするため。
医療と介護の連携	医療と介護の連携に必要なものを把握する。	医療と介護の連携のために必要なもの。	医療と介護の連携の推進を図るために必要な支援の参考とするため。
今後の参入意向	事業者の意向を把握する。	複合型サービスへの参入意向	6期の整備目標を設定するにあたり、事業者の意向を把握する必要があるため。
今後の参入意向	事業者の意向を把握する。	単独ショートステイへの参入意向	6期の整備目標を設定するにあたり、事業者の意向を把握する必要があるため。
新規人材の確保について	新規人材の確保状況を把握する。	新規人材の確保の状況について	
人材の定着、育成について	人材の定着状況を把握する。	最近1年間の離職率について	
ケアマネジャーとの連携	ケアマネジャーとの連携実態を把握する。	どのような連携を、どれくらいの頻度で行っているか。	事業所とケアマネジャーの連携不足が懸念されるため。